

第七十七回帝國議會ニ於ケル東郷外務大臣演説

一九四一年十一月十七日

不肖今回同ラスモ、帝國ノ外政擔當ノ重責ヲ負フコトト相成リマシテ、本日茲ニ帝國政府ノ外交方針ニ付聊カ所見ヲ申述フルノ機會ヲ得マシタコトハ私ノ最モ欣幸トスル所テアリマス。

帝國ハ東亞新秩序建設ノ爲ノ征戰ニ從事スルコト既ニ四年ヲ閱シ、學國一致時世ノ克服ニ邁進シツツアルノテアリマス。私ハ先ツ、御威威ノ下ニ前線ニ奮闘スル我陸海軍將兵ノ武運長久ヲ祈願スルト共ニ幾多ノ尊キ英靈ニ對シ敬弔ノ意ヲ表スルモノテアリマス。

帝國ノ對外國策ノ基本方針カ東亞ノ天地ニ、正義ニ立脚スル平和ヲ確立シ、以テ世界人類ノ福祉増進ニ寄與セントスルニ存スルコトハ、更メテ多言ヲ要セヌ所テアリマス。帝國カ明治維新以來屢々乎トシテ國運ノ伸張ヲ成シ遂ケマシタノモ、實ニ此ノ大義ニ立脚セル不斷ノ努力ノ賜ニ外ナリマセヌ。願ミマスルニ過去七十餘年間帝國ハ幾度カ國難ヲ打開シテマホリマシタ。就中日露ノ戰役ハ東亞ノ平和ニ對スル障害ヲ排除セント

スル學戰決死ノ大事業デアリ、爾來帝國ハ東西ニ於ケル安定勢力トシテノ歩武ヲ進メテ來タノデアリマスルカ、今ヤ東西ノ天地ニ、正義ニ基ク新秩序ヲ確立シ、以テ世界平和ニ貢獻セントスルノ大業ニ邁進シツツアルノデアリマス。

幸ニシテ英伊兩國ハ、帝國ト其ノ意圖ヲ同ウシ曩ニ三國條約ノ成立ヲ見タノデアリマシテ、爾條約カ過去一ケ年餘ノ期間ニ於テモ、既ニ其ノ使命タル東西及歐洲ノ新秩序ノ建設及戰爭ノ大防止ニ對シ大ナル貢獻ヲ爲シ來リマシタコトハ御承知ノ通りデアリマス。

貴洲帝國ハ建國以來國體愈々固キヲ加ヘ同國ヲ承認致シマシタ爾ハ十三ヶ國ノ多キニ達シ、其ノ國際的地位モ日ヲ遂ウテ向上シ、國運隆盛ニ赴キツツアリマス。支那ニ於キマシテハ帝國ハ重慶政權屈服ノ爲武力戰ヲ敢行シツツアルノデアリマスカ、帝國ト中華民國トノ提携ニ依ル東西ノ安定ヲ確保シ以テ共榮ノ實ヲ擧ケントスルハ支那事變ニ處スル帝國ノ根本方針デアリマス。帝國ト國民政府トノ間ニハ曩ニ日華間ノ新關係ヲ律スル基本條約ノ成立ヲ見タノデアリマスルカ、帝國政府ハ此ノ上トモ同政

府ノ強化ニ協力スル決心テアリマス。
支那事變ノ處理ト共ニ帝國ノ重大關心事ハ、北方及南洋方面ニ存スルノ
テアリマス。曩ニ歐州戰争勃發致シマスルヤ、帝國ハ東西全局ノ平和維
持ノ見地ヨリ亂亂ノ東方ニ波及シ來ルコトヲ防止スル爲、凡有ル努力ヲ
爲シ來ツタノテアリマスルカ、本年四月締結セラレマシタ日蔭中立條約
モ亦右ノ方針ヨリ出テ、北方ノ安全ヲ確保セントスルモノテアリマス。其後
獨逸ト蘇聯邦トノ間ニ戰禍ノ發生ヲ見ルニ至リマシタケレトモ、政府ハ
依然北方ノ安全ヲ確保セムトスルノ態度ヲ堅持シ來レルモノテアリマシ
テ、畢竟我方ニ於テハ北方ニ於テ、平和攪亂セラルルカ如キ素因釀成セ
ラレ、又ハ帝國ノ利益カ脅威セラルルカ如キ事態ノ發生スルコトニ對シ
テハ飽迄之ヲ防止セントスルモノテアリマス。
南方ニ關シマシテハ帝國政府ハ曩ニ泰、佛印國境紛争ノ調停ヲナシ、又
佛印トノ間ニ政治的、經濟的緊密關係ヲ設定シ、次テ佛印ヲ繞ル國際情
勢カ佛印ノ安全ヒイテ東亞ノ靜謐、帝國ノ安全ニ重大ナル脅威ヲ及サン
トスルノ形勢トナリマスルヤ、之ニ對處センカ爲日、佛印共同防衛ニ關

スル議定書ヲ締結シ、更ニ芳澤大使ヲ同地ニ派遣致シマシテ緊密關係ヲ
増進ニ努メ、又泰國トノ間ニモ經濟的關係ヲ緊密ニスルト共ニ大使ヲ交
換シテ兩國提携ヲ益々堅クシテ居ルノテアリマス。然ルニ第三國側ヨリ
恰モ帝國カ此等方面ニ侵略的意圖ヲ有スルカ如キ惡意ノ宣洩力行ハルル
ハ寔ニ心外トスル所テアリマシテ、私ハ東亞ニ位スル諸國諸民族力能ク
帝國ノ眞意ヲ了得シ、新秩序建設ノ爲帝國ト協力スルニ至ルコトヲ確信
シテ疑ハサルモノテアリマス。

以上ノ如ク帝國ハ一意支那事變處理ト東亞ニ於ケル新秩序ノ確立ニ眞摯
ナル努力ヲ傾注シテ居ルノテアリマスルカ、曩ニ述ヘマシタ共同防衛ニ
關スル議定書ニ其キ本年夏我軍力南印ニ進駐致シマスルヤ、英米兩
國ハ右ヲ以テ自國領域ニ對スル脅威トナシ、兩國ニ於ケル我資産ヲ凍結
シ以テ事實上經濟斷交ニ等シキ措置ニ出テ、英國各自治領植民地悉ク之
ニ倣ヒ、蘭印亦之ニ和シタノテアリマスルカ、英米ハ更ニ濠洲蘭印、重
慶ヲ誘ツテ、對日包圍ノ態勢ヲモ取ルニ至リマシタ。

斯クノ如クニシテ、帝國ヲ繞ル國際情勢ハ日一日ト緊迫ノ度ヲ加ヘ來ツ

タノテアリマスルカ、英米ノ我方ニ對スル此種壓迫ハ甚重大テアリマシ
 テ、帝國ノ生存ニモ甚大ナル影響アル次第テアリマス。
 茲ニ各方面ノ注意ヲ蒙ヒタイノハ斯ル情勢ナルニモ拘ラス從來帝國政府
 カ太平洋、ヒイテハ世界全局ニ於ル平和ヲ維持シ、最悪ノ事態ヲ回避セ
 ントノ崇高ナル勳勞ヨリ局面ノ打開ノ爲最善ノ努力ヲ傾注シ來レルコト
 テアリマス。抑々支那事變勃發以來、日米關係ハ惡化ノ一途ヲ辿リ逐次
 其勢ヲ加へ來リ、之ヲ放置シテ置キマスナラハ勢ノ趨ク所最悪ノ事態ニ
 立至ルコトナキヲ慮シ難キ情勢ト相成リマシタ。若シ斯ノ如キ事態トモ
 ナラハ太平洋ヲ圍ル諸國ニ對シテノミナラス、全世界人類ニ大ナル慘禍
 ヲ及ホスモノテアリマシテ誠ニ寒心ニ堪ヘス所テアリマス。
 仍テ平和ヲ念トスル帝國ハ此處ニ思ヲ致シマシテ、本年四月以來米國政
 府トノ間ニ日米間諒ノ根本的調整ニ關スル話合ヲ行ヒ來ツタノテアリマ
 スルカ、前内閣ニ於テハ今夏後ニ於ケル情勢ノ逼迫ニモ顧ミ、銳意日米
 交渉ノ成立ニ努力致シマシタニモ拘ハラズ、彼我意見ノ一致ヲ見ルニ至
 ラナカツタノテアリマス。

現内閣ニ於キマシテモ國際危局ヲ救済シ太平洋ノ平和ヲ維持セムカ爲、
右日米會談ヲ繼續スルニ決定シ爾來交渉中デアリマス。其ノ内容ニ就テ
ハ遺憾乍ラ今茲ニ詳細申上クル自由ヲ有シマセヌカ、若シ夫レ米國政府
カ、帝國政府ト同様、眞ニ世界平和ヲ願念スルトトモニ帝國ノ自然的要
求ト東亞ニ於ケル帝國ノ地位トヲ了解シ、且又東亞ニ於ケル專斷ニ付現
實ニ即スル考慮ヲ加ヘマスルニ於テハ、本件交渉ノ妥結モ決シテ不可能
テハナイト考ヘル次第デアリマス。而モ彼我ノ見解ハ過去半歲餘ニ亘ル
話合ニ依リ概ネ明白トナツテ居リマスルノテ、技術的方面ヨリ見マスル
モ今後ノ交渉ニ長時間ヲ費スノ要ナキコトハ米國側ニモ明ラカテアルト
信スルノデアリマス。

專斷新クノ如クデアリマシテ、帝國政府ニ於テハ本交渉ノ成立ニ向ツテ
最善ノ努力ヲ傾注シテ居ル次第デアリマスルカ、我方ノ協調的態度ニモ
自ラ限度カアリ、事苟モ帝國ノ生存ヲ脅カシ又ハ大國トシテノ權威ヲ毀
損スルコトトナルカ如キ場合ニハ、飽迄毅然タル態度ヲ以テ之ヲ排除セ
ネハナラヌコトハ勿論デアリマシテ、私ト致シマシテハ此點ニ付キマシ

テハ、十分ノ決意ヲ以テ交渉ニ臨ンテ居ル次第ニアリマス。
今ヤ帝國ハ未曾有ノ難局ニ遭遇シ、一致團結之カ打開ニ邁進スルノ要アル次第デアリマス。元來軍事ト外交トハ一体デアリ、内政ト外交亦表裏ノ關係ニアルヲデアリマスルカ、官民一致國家ノ總力ヲ擧ケテ重ニ當ルノ要アルヲ痛感スルコト、今日程切實ナルモノハナイノデアリマス。
以上率直ニ本大臣ノ所見ヲ披瀝致シマシテ、茲ニ一億同胞ノ支援ト協力トヲ切ニ冀望スルモノデアリマス。